

2017 年度三浦外洋セーリングクラブ
基金総会・通常総会議事録

開催日:2018年5月15日(火) 19:00~19:44

場 所:虎ノ門 第二オカモトヤビル3階会議室

1. 通常総会に先立ち基金総会が開催され、外山基金会長が議長を務めた。
2. 議長より当年度は267千円の収入が計上され、支出はなく、次期繰越9,870千円となったこと、監査も問題なかったが、銀行預金口座が多すぎるとの指摘を受けたので、今年度は預金口座を整理して簡潔な監査を受けられるようにする予定である旨が説明された。
2017年度基金役員から大谷氏、周東氏が外れ、2018年度から北川氏、小坂橋氏が加わる。
2018年度は、海上保安庁への捜索救助の要請タイミングはいつするか基金委員会で決めてほしいと安全委員会から要請があるので、できるだけ早く決める必要があると説明され、特段の異議もなく承認可決された。
3. 続いて通常総会の開会にあたり、会則26条に従い、丹羽理事より正会員総数267名のうち5分の1以上である54名以上の定足数が必要であるところ、無効議決権行使書6名、有効議決権行使書53名、本日出席者20名、合計73名となり定足数を満たし、本総会は適切に成立する旨報告があった。
4. 会則25条に基づき、尾山会長が議長に就任した。
5. 書記として北川氏、議事録署名人として飯島氏並びに才藤氏を選出した。
6. 議事

第1号議案 2017年度三浦OSC 事業報告及び決算報告の件

- ◇2017年度事業報告として、丹羽理事より、①会員数の推移 ②各委員会の活動報告として、総務委員会、レース委員会、ルール委員会、計測委員会、およびシーボニアフリート、小網代フリート、佐島フリート、ならびに事務局業務について報告があった。
- ◇2017年度決算報告として、関根理事より、決算書、貸借対照表、2018年度予算案の配布、報告がなされた。
- ◇藤田監事より、監査を藤田監事並びに望月監事にて実施したところ、本決算書並びに各事業報告はいずれも正確かつ適正に処理されている旨が報告された。
- ◇第1号議案は全会一致で原案通り承認可決された。

第2号議案 会長交代と理事改選の件

- ◇下記の会長交代と理事改選の件が諮られた。
 - ・ 会長任期満了のため、尾山純一(小網代)退任、庄野栄一(佐島)就任
 - ・ 退任希望理事 大谷正彦(小網代) 北村勝彦(シーボニア) 丹羽秀夫(シーボニア)
 - ・ 新任理事候補 北川隆(シーボニア) 小坂橋忠重(シーボニア) 坂口城治(小網代)

一部理事より、自身も70歳超なので退任希望ではないかと質疑があったが、本件はこのあと諮られる70歳定年制とは別件の、自主的退任希望理事である旨説明された。

◇第2号議案は全会一致で原案通り承認可決され、尾山会長から庄野会長へ議長を交代した。

◇庄野会長より執行部として下記が指名された。

・総務委員長に尾山理事、通信委員長と安全委員長に児玉理事、副会長に才藤理事と尾山理事、その他の委員長は留任。

◇庄野会長より大谷氏に顧問就任を依頼し承諾された。

第3号議案 2018年度事業計画及び予算決定の件

◇尾山理事より、2018年度事業計画として、総務委員会、レース委員会、ルール委員会、安全委員会、計測委員会、通信委員会、およびシーボニアフリート、小網代フリート、佐島フリート、ならびに事務局業務について報告があった。

◇安全委員会、通信委員会の特別予算について説明があった。

◇関根理事より、2018年度一般会計予算案について説明があった。

◇藤田監事より、MOSCの名刺を他フリートとの交流や会員募集時の身分証明に使用するなら各自負担とせず予算化してもいいと提案されたところ、今回は各自負担とし、次回以降の名刺作成について次回理事会で予算化するか審議することとした。

◇平松理事より、8月にシーボニアマリーナにおいてハイパフォーマンスボートのレガッタがあると聞いているが事業計画に記載がない件が質問された。議長より、本日時点でまだ申請がないので、正式な共同主催や協賛の協力依頼があったときに通常のプロセスで承認することになると説明された。

◇第3号議案は全会一致で原案通り承認可決された。

第4号議案 理事定年制導入の件

◇尾山理事より、本件は会則の変更が必要なため、会則40条に従い出席者の3分の2以上の賛成が必要であることが説明された。

◇第4号議案は、議案の「理事定年制」を「役員定年制」と読み替えて承認可決された。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、19時44分閉会を宣した。

以上の決議及び議事の経過を明確にするため、議事録署名人は次に署名する。

2018年 月 日

議事録署名人